

平成26年第3回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 広島市の土砂災害について

まず始めに、広島市の土砂災害についてであります。8月20日に発生した土砂災害において、お亡くなりになられた方々に対しまして、お悔やみ申し上げますとともに被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げます。

また、昼夜を問わず人命救助などの災害対策にあたられている関係者の皆様に深く敬意を表する次第であります。

本市は、明治17年広島県人によって拓かれたまちであります。

これまで、子ども大使を「原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」に毎年招待していただくとともに、「平和の灯」からの分火や、本市のふるさと祭りにも観光親善大使を派遣していただくなど、様々な交流を続けてきているところであります。

本市といたしましては、この度の災害に対し義援金100万円を広島市に送るとともに、一日も早い復興を願っているところであります。

2 新庁舎建設事業について

次に、新庁舎建設事業についてであります。 「久米・ブク共同企業体」に委託しております基本設計策定業務につきましては、庁舎建設特別委員会や庁内検討委員会などの意見を参考に基本設計(案)を取りまとめ、7月末に業務を完了したところであります。

また、7月20日・21日の2日間において、基本設計(案)の住民説明会を延べ5回開催し、61名の方の参加があり、ご質問などをいただいたところであります。

なお、実施設計につきましては、8月29日に「久米・ブク共同企業体」と契約を締結したところであります。

3 広葉交流センター「いこ～よ」について

次に、広葉交流センター「いこ～よ」についてであります。 交流スペースや児童センター、粗大ごみリユース展示広場、エコミュージアムセンター知新の駅などを備えた複合施設の開設に先立ち、7月27日にオープニングセレモニーを開催したところであります。

当日は、愛称の命名者や地域、市議会議員の皆様など、300名を超える方の参加をいただいたところであります。

また、8月1日からの施設利用状況につきましては、8月20日時点で、30団体410名、個人24名の利用があったところであり、今後も多くの方々に利用されることを期待しているところであります。

4 定住人口の増加に向けた取組について

次に、定住人口の増加に向けた取組についてであります。市内外の多くの方々に北広島市の魅力を発信するため、7月25日に市ホームページに「北広島市に住みたくなるウェブサイト」を開設したところであります。

開設後のアクセス数につきましては、8月20日時点で約11,000件となっており、今後も、より多くの方々に見ていただけるよう、内容の充実などに努めてまいりたいと考えております。

7月から開始した「おためし移住事業」につきましては、これまでに道外から4組11名の方に参加していただき、本市の魅力などを市ホームページを通じてモニター発信していただいているところであります。

また、市内に初めて住宅を購入した子育て世代を対象に助成する「ファーストマイホーム支援事業」につきましては、本日より申請受付を開始したところであります。

今後につきましては、まちの魅力の発信をさらに強化するため、パンフレットやプロモーション動画の作成を予定しており、定住人口の増加につなげてまいりたいと考えております。

5 マイナンバー制度の導入について

次に、マイナンバー制度についてであります。国において社会保障・税制度の効率性や透明性を高め、利便性の高い、公平・公正な社会を実現するため、国民一人ひとりに個人番号を付与し、個人情報管理の効率化を図るものであります。

本市におきましては、平成28年1月からの制度開始に向けて準備を進めているところであります。

なお、本定例会において、必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

6 西部地区における学童クラブの開設について

次に、西部地区における学童クラブの開設についてであります。今後の利用人数の増加や待機児童の解消に対応するため、輪厚中央1丁目にある教員住宅を改修し、平成27年度から新たに定員24名の学童クラブを開設することとしたところであります。

なお、本定例会において、開設に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

7 水痘（水ぼうそう）及び成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種化について

次に、水痘（水ぼうそう）及び成人用肺炎球菌ワクチンについてであります
が、予防接種法施行令が改正され、10月1日から定期接種の対象となるもの
であります。

ワクチン接種の自己負担につきましては、他のワクチン接種と同様に、A類
疾病の水痘ワクチンは無料、B類疾病の成人用肺炎球菌ワクチンは、接種料の
3割相当額の2,600円とし、現在、実施に向けて準備を進めているところ
であります。

なお、本定例会において、必要な経費の補正予算を提案させていただいたと
ころであります。

8 市営住宅共栄団地1号棟の完成について

次に、市営住宅共栄団地についてであります。昨年6月から工事を進めて
おりました鉄筋コンクリート造5階建ての1号棟につきましては、8月4日に
工事が完成し、8月25日から40世帯の移転入居を開始したところでありま
す。

今後につきましては、建替事業計画に基づき、平成31年度の完成に向けて、
工事を進めてまいりたいと考えております。

9 企業進出状況について

次に、企業の進出状況についてであります。輪厚工業団地につきましては、7月22日に名古屋市に本社を置く医薬品メーカーである中北(なかきた)薬品株式会社が、進出を公表したところであります。

また、7月31日には、兵庫県西宮市に本社を置き、市内北の里で操業している総合食品の卸売業である加藤産業株式会社と売買契約を締結したところであります。

これにより販売面積が、6社8区画約88,000平方メートルとなったところであります。

その他の企業の進出状況についてであります。7月29日に札幌市に本社を置く石屋製菓株式会社が、「白い恋人」などの菓子製造拠点を中央6丁目に新設し、平成29年春の操業を目指すこととなったところであります。

また、同じく札幌市に本社を置くコンビニエンスストア向けの弁当・惣菜のメーカーである株式会社彩香(さいか)が、大曲中央1丁目に工場を新設することを決定し、平成27年秋の操業に向けて準備を進めているところであります。

今後につきましても、進出を検討中の企業への訪問など、積極的な誘致活動を展開してまいりたいと考えております。

10 農作物の生育状況について

次に、農作物の生育状況についてであります。石狩農業改良普及センターの8月15日現在の発表によりますと、7月の気象は、平年と比べ平均気温が高く、日照時間も多くなったことから、水稻をはじめとする農作物の生育は、順調に推移しているとのことであります。

なお、本市におきましても、8月19日、市内農業関係機関合同による作況調査を実施し、状況を確認したところであります。

以上申し上げ、行政報告といたします。